

ぎょうむそくほう

【ダイジェスト】

No.719

2026年8月31日

東海旅客鉄道労働組合
https://www.jrtu.jp



「ハートフルカンパニービジョン ⇒2027」の取り組み推進！

Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

「基本協約」改訂 第5回団体交渉

効率的な業務遂行、人事処遇や制度充実等について議論

Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

8月31日、「基本協約」改訂に向けた第5回団体交渉を開催し、会社と議論を展開した。

今回の団体交渉では、効率的な業務執行体制の実現、意欲とやりがいを持てる人事処遇・賃金制度の充実について議論し、業務実態に見合った適正な要員配置や効率的な業務遂行を実現するためのシステム・環境改善、努力した者が報われる公平・公正な人事評価について改善を求めたほか、現場の実態に合わせた各種手当の見直し強く主張するなど、多岐に渡り議論を展開した。

なお、運輸システムの社員運用については2024年度から個別運用が開始された一方で、個別運用に入る前の離職やライフステージの変化への対応について会社として課題認識を持っているため、不断に検討を行っていく考えが示された。また、次期Jネットの試使用についてスケジュールが明らかになるとともに、人事考課制度の運用については、この間、育児休職者や新卒採用者等が不利益な評価を受けることのないよう求めてきたが、2026年度から業績考課ランクに新たなランクが新設されるとともに、一部等級の受験資格が見直されることを確認した。

JR東海ユニオンは引き続き、職場の実態をしっかりと伝え、「将来にわたる会社の発展と組合員・家族の幸せ実現」に向けた粘り強い交渉を展開していく。

【主な議論内容】※項目番号は、申入れNo.とリンクしています（部分は、現時点で前進を確認した事項）

IV. 効率的な業務執行体制の実現

1. 効率的な業務執行体制の実現

- ✓業務実態を確実に把握し、業務の見直し、改善につながる取組みの継続
- ✓業務量に見合った適正な要員配置
- ✓効率的な業務遂行を実現するためのシステム、資機材の導入、環境改善の継続
- ✓各工事事務所をはじめ、中央新幹線に従事する社員の労働条件の改善
- ✓業務改革について特別条項廃止を見据えた取組み推進

・次期Jネットの試使用は2027年夏頃から全社的に実施し、対象者を順次拡大していくこと確認。

V. 意欲とやりがいを持てる人事処遇・賃金制度の充実

1. 意欲とやりがいを持てる人事処遇・評価制度・表彰制度の確立

- ✓努力したものが報われる公平・公正な人事評価
 - ✓上司と部下の緊密なコミュニケーションが図れる職場環境づくり
 - ✓採用種別に限定することなく、意欲とやりがいを持ち続けることができる処遇・人事運用
- ##### 2. 長期雇用を前提とした基本賃金の業務実態に適合した各種手当のブラッシュアップ
- ✓「新しい人事・賃金制度」の見直しで生じている諸課題の改善
 - ✓世の中や働き方の変化、現場の実態に合わせた各種手当の見直し

・2026年度から業績考課ランクに「PK」「PN」を新設するとともに、2027年度以降、L2等級からL3等級への受験に必要な総合考課ランクの要件として「B・A」を追加することを確認。

※議論内容の詳細については、後日発行の「ぎょうむそくほう」をご確認ください。